

Case : 78

排水溝の蓋に杖先が入り、転倒しそうになる

場面の説明

排水溝に落ち葉がたまっていて溝がよく見えないまま杖をついてしまった



| | |
|----------------|--|
| 利用シーン |  移動  外出 |
| 主な利用場所 |  その他 |
| 介護保険の種目 | — |
| 分類コード (CCTA95) | 120303 (ステッキ・T字杖) |
| 介護テクノロジー | — |
| 二次元バーコード |  |

解説

落ち葉で排水溝が見えづらかったことが直接の原因ですが、このような箇所を見落とさず周囲の状況から推察して危険を認知することが大切です。その上で、杖をつく位置や歩行進路を変えるなどの的確な判断をすることで安全に歩行することが可能となります。病院などの環境で安全に使用していたとしても街で同様に使用とは限りません。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：排水溝を確認する十分な視力がなかった
- 人：路面の状況に注意を払わず、ただ漫然と歩いていた
- 環境：落ち葉で排水溝が見えづらかった

| | | |
|-----|-----|-----|
| 日付： | 所属： | 氏名： |
|-----|-----|-----|

Case : 78

排水溝の蓋に杖先が入り、転倒しそうになる

事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

排水溝に落ち葉がたまっていて溝がよく見えないまま杖をついてしまった



| どのような要因が考えられますか？ | どのような対策が必要でしょうか？ |
|------------------|------------------|
| 人（本人・介護者・関係者）の要因 | |
| モノ（福祉用具）の要因 | |
| 環境の要因 | |
| 管理の要因 | |

メモ